

社団日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

<p>代表者氏名 (ふりがな)</p>	<p>水田 恵三 みずたけいぞう</p>	<p>所属</p>	<p>尚綱学院大学</p>
<p>研究集会等名称</p>	<p>財団法人日本心理学会犯罪行動研究会</p>		
<p>成果概要</p>	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 10 名 (うち認定心理士 2名) 非会員 10 名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>犯罪行動に関する様々な視点を紹介しながら、現在の犯罪心理学の最先端の理論と実践を紹介することを目的としている。2010 年度には第 7 4 回日本心理学会ワークショップにおいて大学教育における「犯罪心理学」の新たな試み (2) 犯罪心理学の研究対象としての市民 2 つを開催した。両方とも 50 人以上の参加者とともに活発な議論が交わされた。また、仙台市においては、大学、弁護士、家裁調査官をメンバーとした研究会を 2 度開催した。</p> <p>公然わいせつ犯罪者の心理 感情と犯罪との関係 脳のメカニズムを中心として</p> <p>後者は今年度日本心理学会において PTSD に関連したワークショップに発展の予定である。</p>		